



秋晴れの中、3年ぶりの全面対面開催を行った市大祭(→P5)

特集

名古屋市立大学病院 救急・災害医療センター(仮称)が いよいよ着工!

起工式・安全祈願式典を執り行いました

- 01 特集
- 02 TOPICS
- 05 学生の活躍
- 06 学生の受賞／表彰関連
- 07 受賞関連／イベントカレンダー／教員著書・発行物紹介／寄附顕彰

DONATION

あなたの力が支えます ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：総務部 総務課
tel.052-853-8005

名古屋市立大学病院

救急・災害医療センター（仮称）が いよいよ着工！

起工式・安全祈願式典を 執り行いました

2022年9月28日（水）、2025年夏の開棟を計画している救急・災害医療センター（仮称）の起工式・安全祈願式典を執り行いました。関係者約50名が集まり、工事の着工を祝うとともに、順調な進捗と安全を祈願しました。



式典の様子



着々と進む建設工事の様子（2022年11月撮影）

POINT

救急・災害医療センター（仮称）の特色を紹介します。

POINT 01 国内最大スケール！

救急・災害医療センター（仮称）は地下1階、地上8階建てで延床面積27,600㎡からなる救急医療施設として日本最大級となる予定です。

- ▶ 救急搬送10,000件／年以上に対応できる救命救急センターを設置
- ▶ 災害時に約300床の仮設病床に変身する教育・診療スペースを確保
- ▶ 巨大地震時に建物の揺れを軽減し、診療機能を維持するための免震構造



救急・災害医療センター（仮称） 完成イメージ



外観（北東面）イメージ



外観（西面）イメージ

POINT 02 SDGsな取り組み！

エントランスホールには地中熱を利用した空調システムを導入します。エアコン冷房運転時の室外機の放熱を地中で行うことで、高効率で省電力な空調が可能です。

CO₂を排出量を低減でき、ヒートアイランド効果の抑制につながる再生可能エネルギーシステムを採用しています。

今年で10年目！名市大「BLS講習会」を開催！

2022年8月2日（火）、16日（火）、23日（火）に、本学の学生や教職員を対象にBLS（一次救命処置）、AEDの使用方法や人工呼吸の実践方法を学ぶ「BLS講習会」を市立大学病院の臨床シミュレーションセンターにて開催しました。東部医療センター救命救急センター長の松嶋麻子教授が講師を、救命救急サークルMeLSCの延べ35名の学生がインストラクターを務め、3日間で学生27名、教職員29名が受講し盛況でした。

松嶋教授は「少しの勇気と少しの行動で救える命がある」と訴えかけ、受講者からは「大変有意義な講習だった」、「MeLSCの方々の的確なアドバイスで自信が持った」といった感想が寄せられました。



講習会の様子

TOPICS

名古屋市立大学の最近のトピックス・主な出来事をご紹介します。

DATE 2022.7.23-9.3

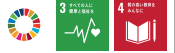
医学部 薬学部 看護学部

「PICoプロジェクト2022」の活動を行いました

本学の医療系学生と医療者・連携施設が協力して夏季休暇中に参加できる教育プログラムを開発・提供する「PICoプロジェクト」。今年度は薬学・看護学部生も運営に加わりました。学生の声からプログラムの約半数を新設し、市立大学病院や東部・西部医療センターをはじめ8施設から28講座を開設。本学外の学生も含め70名(延べ118名)が参加しました。学生が選ぶ最優秀プログラム(PICo賞)には名市大病院救急科の「災害医療を体感する」が選ばれました。



企画について話し合う運営メンバー



DATE 2022.8.5-9.22

都市政策研究センター

ロボット・AI・IoT経営人材育成講座を開催しました

2022年8月5日(金)から9月22日(木)までの間、名古屋市・名古屋工業大学との連携事業として、企業の経営者層を対象にロボット・AI・IoT導入経営人材育成講座(全8回)を開催しました。ロボット・AI・IoTに精通した本学の各研究科の教員7名により、ロボット・AI・IoT導入の計画や検討を行ううえで必要な基礎・応用知識を学ぶ多彩な講義内容の講座を開講しました。熱心な受講者からは「AIに関する知識が深まった」、「情報セキュリティとサイバーセキュリティの違いについて理解できた」との声もきかれ、好評を博しました。



渡邊教授による「機械学習基礎」の講義



DATE 2022.11.14-20

都市政策研究センター 2022年度シンポジウムを開催しました

データサイエンス学部の開設を記念して「データサイエンスが拓く未来」をテーマに開催したシンポジウムを2022年11月14日(月)から20日(日)までYouTubeにて配信しました。第1部では郡健二郎理事長の挨拶に続き、(株)三菱総合研究所の中條寛氏による「データサイエンスの進展と今後の期待」をテーマとした基調講演、三澤哲也データサイエンス学部長予定者による新学部紹介を行いました。第2部のパネルディスカッションでは浅井清文学長のコーディネートのもと、中條氏のほか、名古屋市総務局企画調整監の武田淳氏、芸術工学研究科の横山清子教授の3名が、産官学の立場から社会課題を解決する手段として「データサイエンス」をどのように活用するか、求められる人材の育成の課題等について議論を交わしました。



第2部パネルディスカッションの様子



DATE 2022.9.29

高等教育院

教養科目「データサイエンスへの誘い」を開講しました

2022年9月29日(木)、全学的なデータサイエンス教育として、一般教養科目「データサイエンスへの誘い」(全15回)が開講しました。初回となるこの日は名古屋市よりゲストスピーカーとして名古屋市総務局企画部統計課長の近藤真由美氏を講師に迎え、「EBPM(証拠に基づく政策立案)と統計リテラシー」、「行政運営における統計データ活用」をテーマにお話いただきました。受講した学生は、行政分野において、どのようなデータの収集・活用が行われているかを直接市職員から学ぶ貴重な機会となりました。



近藤氏による講義の様子



DATE 2022.8.18

大学院 人間文化研究科 都市政策研究センター

全国市議会議長会指定都市協議会総会(研究会)で講演を行いました

2022年8月18日(木)、20政令指定都市の議長(副議長)と議会事務局職員が出席する同第28回総会(研究会)において、人間文化研究科の三浦哲司准教授が「大都市における区民参加とコミュニティ政策」と題した講演を行いました。この講演の中で三浦准教授は、名古屋市が推進する「特別自治市」をはじめとした各市の取り組み状況や今後の課題について解説するとともに、講演終了後は、各市の意見交換の場においてファシリテーターも務めました。



三浦准教授による講演の様子



DATE 2022.8.23/29

大学院 薬学研究科 大学院 理学研究科

夏休みに瑞穂区連携事業を開催しました

例年、夏休みの終わりに開催している本学と瑞穂区役所との連携事業「薬学教室」と「知って楽しむ!夏のおもしろ科学実験教室!」を開催しました。2022年8月23日(火)に開催した薬学教室では、昨年度好評だった「あなたも科捜研の一員になれる?」をテーマにし、小学4年生から中学3年生24名が試薬を用いた血痕や指紋の検出の体験を行いました。8月29日(月)に開催した科学実験教室は定員を32名に絞ったうえで、実施内容を変更したり感染防止対策を徹底するなどの工夫をして2年ぶりに開催し、小中学生が総合生命理学部の教員や学生の指導の下で実験を楽しみました。



薬学教室/指紋の検出体験の様子



科学実験教室/大学生の指導のもとで液体窒素の実験を楽しむ子どもたち



DATE 2022.9.17

大学院 薬学研究科

秋の薬用植物園市民公開講座を 開催しました

2022年9月17日(土)に、薬用植物園市民公開講座を開催しました。本講座は1997年に始まり、市民の皆さまに薬用植物について知っていただける機会として開催を続けています。今回は午前と午後の計2回開講し、計120名の方に参加いただきました。



薬用植物園を見学する様子



DATE 2022.9.17

「コロナ禍においてこの地域を支えた 専門家から学ぶ」特別講演会

2022年9月17日(土)、第24回日本医学会総会記念医学振興基金公開講演会として、「コロナ禍においてこの地域を支える専門家から学ぶ」と題した講演を行いました。講師として浅井清文学長をはじめ、東部医療センター 長谷川千尋感染症センター部長、医学研究科の鈴木貞夫教授、中村敦教授が登壇し、専門家の視点から新型コロナウイルス感染症の経験から得た学びについてお話いただきました。



講演会に登壇する浅井学長



DATE 2022.9.26

名古屋市立大学病院 東部医療センター 西部医療センター

名市大3大学病院の 臨床研修医の連携研修(NEW-E)が始まります

2022年9月26日(月)に3病院の研修医相互乗り入れ救急当直システム(NEW-E)の締結式が行われました。市大病院と東部・西部医療センターの2年次研修医が連携して救急医療を行いつつ、1年次研修医の指導も行うことで、名古屋市の救急医療を支えることを目的としています。

NEW-Eのシステムを確立した兼松総合研修センター副センター長の呼びかけで3病院の臨床研修責任者が集まり、調印が行われました。3病院それぞれの特色を生かした研修を通して、より専門的な救急医療を経験し、更なる実力の向上と発展に努められるよう各臨床研修プログラムの充実を図ってまいります。



(左から)
市大病院:兼松副センター長、東部MC:山田臨床研修センター長、
市大病院:林総合研修センター長、西部MC:片田臨床研修室長



DATE 2022.9.26/10.3

秋期卒業式・入学式を執り行いました

2022年9月26日(月)に令和4年度秋季の卒業式・修了式を執り行いました。今季の卒業生・修了生計は計41名です。式典に出席した学生はみな一様に晴れやかな顔で、浅井清文学長の祝辞に耳を傾けていました。



卒業式・修了式の様子

また、10月3日(月)には令和4年度秋季入学式を行い、新たに37名の学生が本学学生としての新たな一歩を歩み始めました。



入学式の様子

DATE 2022.11.19

大学院 芸術工学研究科

学生との協働により脳神経科学研究所の 1階エントランスを改装しました



脳神経科学研究所1階エントランス

2022年11月19日(土)に脳神経科学研究所(脳研)1階のエントランスを芸術工学研究科の鈴木賢一教授のゼミと脳研の協働により改装しました。複数のデザインを提案していただき、その中から脳研の教職員・学生を含む全メンバーによる投票でデザインを決定しました。学生のアイデアを生かし、脳神経のつながりやネットワークを連想させるデザインとなっています。



DATE 2022.10.19/11.1

大学院 医学研究科

研究成果の記者発表会を行いました

本学教員による研究成果の発表として、2件の記者発表会を行いました。当日は集まった記者から活発な質問がなされ、その後、新聞など多くのメディアに掲載されました。



紫外線治療器を実演する森田教授

2022年10月19日(水)、東京都渋谷区で医学研究科の森田明理教授とウシオ電機株式会社との共同研究で、国産初となる、紫外線LED光源を搭載した難治性皮膚疾患に対する紫外線治療器「セラビーム・UV308 miniLED」開発の記者発表会を行いました。利用者のQOL向上と医療分野の発展に貢献していく紫外線治療器として、今後の活躍が期待されます。

DATE 2022.7.25-8.25

医学部 薬学部 総合生命理学部

令和4年度 大学丸ごと研究室体験を実施しました!

令和4年7月25日(月)~8月25日(木)にかけて、名古屋市教育委員会との連携事業の一環として「大学丸ごと研究室体験」を実施しました。この企画は、名古屋市立高校生に最先端の研究に触れ、高校までに学ぶ科学が社会にどう関わっているかを知り、科学に対する興味・関心を深めていただくために大学での実験活動の体験を提供するものです。今年度も医学部、薬学部、総合生命理学部の講座を開講し、100名を超える名古屋市立高校生の参加がありました。どの講座においても、初めて見る実験器具や機械に興味津々で、時には鋭い質問をする高校生の姿も見られました。



薬学部講座の様子



右下:明智教授、右上:京都大学大学院 古川壽亮教授、
左上:愛知県がんセンター 乳腺科 岩田広治部長、
左下:国立がん研究センターがん対策研究所 内富庸介研究統括

2022年11月1日(火)、医学研究科の明智龍男教授をはじめとした共同研究グループが、乳がん患者さんの再発に対する恐怖感を自身のスマートフォンにダウンロードした心理療法のアプリを用いて軽減することに世界で初めて成功したことを発表する記者会見を行いました。

DATE 2022.8.10-9.25

NCUグレード・スキップ・チャレンジ 2022を開催しました!

2022年8月10日(水)～9月25日(日)にかけて、名古屋市教育委員会との連携事業の一環として「NCUグレード・スキップ・チャレンジ2022」を実施しました。この企画は、名古屋市立高校生に社会問題や社会活動に対する興味/関心を深めていただくために、大学での調査研究活動の体験を提供するものです。今年度は経済学部、人文社会学部、芸術工学部、看護学部および令和5年度に開設予定のデータサイエンス学部による講座を開講し、本学の教員や大学生と一緒にグループワークや体験学習を行っていただきました。最終日の合同発表会では、緊張しながらも堂々と成果発表に臨む高校生の姿が見られました。



経済学部講座の様子



DATE 2022.11.28

高等教育院 第16回 教育改革フォーラムを開催しました

2022年11月28日(月)、「令和5年度新カリキュラムについて」をテーマに教育改革フォーラムを開催しました。本学では、教養教育のカリキュラム改革を令和5年度に行うため、各科目や部会のポリシーについて検討をしております。今回はその概要を報告するため、各部長が部会のポリシーを共有し、理学研究科兼高等教育院の宮原一弘学内講師が、情報科目の再編について、高等教育院の山田勉教授が、新設科目「NCUラーニング・コンパス」について、それぞれ講演を行いました。参加者にとって、今後の教養教育の方針を考える機会となりました。今後も本学では、カリキュラムの検討を通じ、教育内容向上のための活動を続けてまいります。



教育改革フォーラムの様子



DATE 2022.10.28/12.6

読売新聞社東京本社 中部支社との包括連携協定を締結しました

2022年10月28日(金)、本学と同社との包括連携協定を締結しました。12月6日(火)には協定締結を記念したオンライン公開講座「デジタル社会を切り拓く～データサイエンスの誘い～」を開催しました。同社次長兼編集センター長の森昭雄氏から報道業界で推進されているデータジャーナリズムについて、また本学のデータサイエンス学部長予定者である三澤哲也教授からデータサイエンス学部の紹介や研究内容について講演いただきました。



(左)郡理事長、(右)稲葉支社長

講演内容は
本学ウェブサイト
期間限定公開中です▶



DATE 2022.11.10

就活生応援! 身だしなみセミナーを開催

SDGsセンターでは、花王グループカスタマーマーケティング株式会社と連携し、2022年11月10日(木)に「就活生応援!身だしなみセミナー」を開催しました。これは、名古屋市が設置している「名古屋市SDGs推進プラットフォーム」の会員間交流の一環として実現したものです。SDGsのGoal5(ジェンダー平等を実現しよう)及びGoal8(働きがいも経済成長も)達成に向け、性別問わず幅広く「社会人としての身だしなみ」について学ぶ内容となりました。当日は、32名の学生が参加し、同社の講師から、スキンケア、メイク、ウェブ面接対策などの具体的な方法について学びました。今後も、SDGsをキーワードに、企業等との連携を進めてまいります。



身だしなみセミナーの様子



両病院の新名称が決定しました!



名古屋市立緑市民病院
→(新名称)名古屋市立大学医学部附属
みどり市民病院



名古屋市厚生院附属病院
→(新名称)名古屋市立大学医学部附属
みらい光生病院

緑市民病院・厚生院附属病院の 医学部附属病院化について

令和5年4月に名古屋市立緑市民病院・名古屋市厚生院附属病院が本学の医学部附属病院となる予定です。これにより、市立大学病院・東部医療センター・西部医療センターとあわせて、附属病院群で約2,200床の病床数となり、高度急性期から慢性期まで幅広い医療の提供が可能となります。

附属病院化のメリットを生かし、地域医療のニーズに的確に対応した質の高い先進的な医療を提供するとともに、健康長寿に資するより効果的な治療方法などの研究や地域包括ケアシステムの推進、地域の医療・介護を支える優秀な医療人の育成等を行ってまいります。



市立大学病院初の「診療看護師」が活躍中

Nurse Practitionerは、欧米において医師に近い働き方をする看護の専門資格であり、日本では診療看護師(NP)と呼ばれています。チーム医療の要となり、医師の働き方改革(タスクシフティング)を進めることが期待されています。

2022年4月より市大大病院で最初の診療看護師(NP)として、各診療科の協力を得て臨床研修を行っています。大学院で学んだことをケアに生かすため、日々知識と技術の研鑽に努めています。診療看護師が医師と看護師をつなぐ中間的な役割を担うことで、医師がすぐに対応できない場面でもタイムリーに高度な医療を提供することができます。速やかに適切な医療を提供できることで患者さんには大きなメリットがあり、医師の業務負担軽減(=タスクシフティング)にもつながると考えます。「救急・災害医療センター(仮称)」の開設に向けて、院内で多くの診療看護師が活躍できる環境を整えることにも注力していきます。



荒木隆太郎
診療看護師

大学院 芸術工学研究科

北千種キャンパスの植込みに 地域在来種の苗木を植栽しました

芸術工学研究科の大野暁彦准教授と研究室の学生が、北千種キャンパスの花壇に地域在来種の草花を植栽しました。植栽した草花の多くは、現在ではほとんど都市部では見られなくなりましたが、元々は濃尾平野の多くの緑地で普通に見られた草花です。できるだけ地域の遺伝子型を保全するため、産地にこだわり、岐阜県産ジャノヒゲ・ナキリスゲ・ヤブコウジ、愛知県産ノコンギク・キンミズヒキなどを特別に栽培された苗を選出して植栽しています。



北千種キャンパスのメイン看板下に苗木を植栽しました





学生の活躍

経済学部 2022観光大使おかげぎに就任



経済学部4年の田村佳穂さんが前年に引き続き、2022観光大使おかげぎに就任しました。

田村さんコメント

任期中には、岡崎市の伝統的な行事である、花火大会や家康行列などに参加したり、SNSや新聞のコラムなどを通じて情報発信をするなど、貴重な経験をたくさんさせていただき、これから社会に出る上でも勉強になりました。勇気を出して応募して良かったと心から思います！
2年間活動をすることができたのは、大学の友人や先生方の協力があったからです。ありがとうございました！



(左) 経済学部4年 田村 佳穂さん

経済学部 ぎふ長良川メイツ第9期生として活躍



経済学部4年の清水唯由さんがぎふ長良川メイツ第9期生として活躍しました！

清水さんコメント

観光展やメディア出演、SNS投稿を通じて、ぎふ長良川の鶺鴒や岐阜城など、岐阜市の観光をPRしています。メイツの活動で大切にしていることは、「与えられた仕事だけでなく、自分たちで工夫すること」です。常に自主的に取り組むことで、多くの学びが得ることができています。また、私の活動を応援してくれたり、何かに挑戦している仲間の姿を見ると、「よし！頑張ろう」と励みになります。



(左から2番目) 清水 唯由さん

経済学部 全日本珠算選手権大会(フラッシュ暗算競技部門)で全国優勝！



経済学部4年の齋藤俊さんが、令和4年度全日本珠算選手権大会のフラッシュ暗算競技部門に出場し、見事全国優勝を果たしました。

齋藤さんコメント

1日何もしないと鈍ってしまうので、短時間でも毎日練習するように心掛けました。3年ぶりの開催でしたが、楽しみの方が大きくて、あまり緊張しませんでした。来年は個人総合競技の日本一とフラッシュ暗算の自己ベスト更新を目標に頑張ります。



芸術工学部 「卓展2022」を開催しました



卓展は、芸術工学部の学生たちが自ら作品展示会を主催することで、創作活動や学びを発信し、学内のクリエイティビティの向上を図ることを目的とした展示会です。2022年8月19日(金)～21日(日)に3年ぶりに対面開催を行い、建築からプロダクト、メディアデザインなど幅広いジャンルのプロジェクト(卓)の作品が、芸術工学棟の教室やロビーを使用して展示されました。8月20日(土)はオープンキャンパスも併催され、多くの高校生が来場し、進学後の活動への理解を深めていただく良い機会となりました。



芸術棟1F 正面玄関に巨大回廊が出現



プロジェクト(卓)「DURA」



芸術棟1Fアトリウム会場風景

3年ぶりの全キャンパス対面開催！ 2022年度大学祭を行いました

2022年10月15日(土)～11月6日(日)にかけて薬学祭・芸工祭・川澄祭・市大祭が開催されました。4キャンパスすべての大学祭を対面開催するのは3年ぶりとなり、感染対策を実施しながらそれぞれのキャンパスで特色を生かした催しを行い、来場された地域の方々とともに大いに盛り上がりました。



芸工祭



川澄祭



薬学祭

学生の受賞

※学年は受賞時

医学部

第54回 日本医学教育学会大会
Student Award (優秀発表賞)

テーマ: 医学生による教育システム開発
—医療系学生と医療機関・指導医を
結ぶプラットフォームの構築—

<受賞者> 医学部 6年 業天 一生 さん



薬学部 大学院 薬学研究科

第39回 和漢医薬学会学術大会 優秀発表賞

「抑肝散と抑肝散加陳皮半夏各エキスの
GABA_A受容体結合活性の比較」

<受賞者> 薬学部 薬学科 6年生
生薬学分野 内山 京香 さん(写真左)

「ヒトにおける甘草の副作用の発症を
予測できる背景因子の探索」

<受賞者> 薬学研究科 博士課程 2年生
生薬学分野 迫田 凌太 さん(写真右)



芸術工学部

(イギリス) MEGAFILIX film award
2022(学生の部) 銀賞

作品名:「砂に沈む」(Thinking in the sand)

<受賞者> 芸術工学部
産業イノベーション学科 4年 江口 諒 さん



大学院 理学研究科

線虫研究の未来を創る会2022
優秀ポスター発表賞

<受賞者> 理学研究科 博士前期課程 1年 鈴木 涼月 さん



大学院 芸術工学研究科

(カナダ) トロントタミール映画祭 佳作
作品名: あなたならどうしますか?
(What would you do?)

環境デザイン研究所(栗原研究室) ×
2021グレイドスキップチャレンジ協働作品



大学院 理学研究科

「The 15th Graduate Student Workshop
on Mathematics」
Award for Presentation Excellence

<受賞者> 理学研究科 博士前期課程 2年 開 萌実 さん



経済学部

統計データ分析コンペティション2022 審査員奨励賞【大学生・一般の部】

受賞論文: 「東日本大震災後の避難生活と健康影響」

<受賞者> 経済学部 公共政策学科 4年
(写真左から) 浅井 惇志 さん、高木 伸也 さん、
松田 美奈 さん



受賞論文: 「地域格差から見る人口移動」

<受賞者> 経済学部
会計ファイナンス学科 4年
野村 京加 さん



名市大発高インパクト論文表彰 / 国際共著論文プラス1運動表彰 / トップ1%論文表彰



研究力の強化および国際的な評価の上昇に関する機運を高め、世界大学ランキングの上昇を目指すことを目的に表彰するものです。

■名市大発高インパクト論文表彰

特に影響の高い論文を著した研究者を表彰

- 医学研究科 准教授 間邊 利江
- 医学研究科 助教 桑山 創一郎
- 医学研究科 教授 安川 力
- 薬学研究科 准教授 田上 辰秋
- 薬学研究科 教授 尾関 哲也
- 経済学研究科 准教授 坂和 秀晃
- 看護学研究科 教授 金子 典代
- 理学研究科 教授 木村 幸太郎

■国際共著論文プラス1運動表彰

国際共著論文数で特に顕著な業績を収めた研究者を表彰

- 医学研究科 教授 齊藤 貴志
- 医学研究科 教授 森田 明理
- 薬学研究科 教授 糸 和彦
- 経済学研究科 准教授 内田 真輔
- 人間文化研究科 教授 上田 敏文
- 芸術工学研究科 准教授 尹 奎英
- 看護学研究科 教授 樋口 倫代
- 理学研究科 教授 杉谷 光司

■トップ1%論文表彰

出版年別のFWCI(当該論文が類似の論文と比較して、どの程度引用されているかを示す数値)が世界全体の上位1%に含まれる論文の著者のうち、特に顕著な業績を収めた研究者を表彰

- 医学研究科 教授 間瀬 光人
- 医学研究科 教授 飯田 真介
- 医学研究科 教授 齊藤 貴志

令和4年度 理事長表彰

本学で教育、研究、社会貢献、管理・運営、診療の分野で顕著な業績を挙げ、本学の発展に尽くされた方を表彰するものです。

■教育

- 人間文化研究科 教授 上田 敏文
- 芸術工学研究科 准教授 向口 武志
- 看護学研究科 准教授 渡邊 実香

■研究A

- 薬学研究科 教授 頭金 正博
- 看護学研究科 教授 金子 典代

■研究B

- 理学研究科 准教授 三浦 均

■社会貢献

- 医学研究科 准教授(診療担当) 三浦 敏靖
(東部医療センター)
- 薬学研究科 教授 牧野 利明
- 理学研究科 准教授 櫻井 彦彦

■管理・運営

- 芸術工学研究科 教授 鈴木 賢一
- 看護学研究科 教授 窪田 泰江

■診療

- 医学研究科 講師(助教級) 瀧本 周造
- 医学研究科 准教授(診療担当) 大野 貴之
(東部医療センター)



PRIZE 受賞 ※受賞期間:2022年8月~10月頃 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載



■医学研究科

第118回
日本精神神経学会学術総会
優秀演題賞
公衆衛生学分野 准教授
西山 毅



AAS(American Astronautical Society)
2022 International Space Station Research Awards
Compelling Results Award
理事長 郡 健二郎 (後列左)
腎・泌尿器科学分野 教授 安井 孝周 (後列右から1番目)
腎・泌尿器科学分野 准教授 岡田 淳志 (後列左から2番目)

■薬学研究科

第26回
日本がん分子標的治療学会学術集会
ポスター賞
細胞情報学分野 准教授
井上 靖道



■芸術工学研究科

日本空間デザイン賞 入賞
作品名:星乃珈琲店 守谷店
芸術工学研究科建築都市領域 助教
寺嶋 利治



星乃珈琲店守谷店

令和4年 秋の叙勲

音楽学における研究業績等により、このたび瑞宝章を受章されました。
ご受章を心よりお祝い申し上げますとともに、
今後のご活躍をお祈りいたします。

瑞宝小綬章 受章者: 加藤 いつみ
名古屋市立大学名誉教授



EVENT CALENDAR イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。 ■内容・場所・申込方法等の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。



開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
2023 2.18 SAT	名古屋市立大学交流会 令和4年度 総会・講演会・懇親会 講演者:山本 昌 氏 テーマ:継続する心	時間:15:00~19:00 場所:名古屋マリオットアソシアホテル 対象者:同窓生、現・旧教職員、 学生など本学関係者	交流会HP、メール、FAXいずれか 交流会HP: http://www.koryukai.jp/ 申込期限:2023年1月31日(火) 交流会HP→
2023 3.11 SAT	第4回 「愛知県で生活する外国人の保健医療 アクセスを考える」フォーラム 共催:名古屋国際センター	時間:14:00~16:00 場所:名古屋国際センター 第3研修室 オンライン併用(申込者に詳細をお送りします) 費用:無料	申し込み: https://questant.jp/q/forum4 詳細: https://ncugch.jp 申込フォーム→



教員著書・発行物紹介



社会をつくった経済学者たち:
スウェーデン・モデルの
構想から展開へ
著者:経済学研究科 教授 藤田 菜々子
出版:2022年9月15日 名古屋大学出版会

ソーシャルワーク専門職
資格統一化のゆくえ
相模原事件と「日本精神保健福祉士協会」
の動向

著者:人間文化研究科 教授 樋澤 吉彦
出版:2022年8月12日 生活書院



寄附顕彰

大学振興基金

■個人
10万円以上 石原 治 様、棚橋 順治 様、山本 喜通 様
1万円以上 澤矢 豊伸 様、西村 麻里 様、吉永 正倫 様
非公表 鬼頭 良彰 様、古賀 剛 様、後藤 由行 様、
白神 宗男 様、野倉 一也 様、南館 謙 様、森園 ひろみ 様

■団体
5万円以上 さんあい薬局株式会社 様、
読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局長 東 武雄 様
1万円以上 東洋医学研究財団 様
非公表 株式会社フォーリア 様、株式会社グッドスピード 様

名古屋市生みらい応援基金

■個人
1万円以上 澤矢 豊伸 様、吉永 正倫 様
非公表 郡 健二郎 様、郡 洋子 様、田中 敬子 様、土井 祐美子 様、
野倉 一也 様、樋澤 吉彦 様、森園 ひろみ 様

※五十首順。2022年7月1日から9月30日までに寄附をいただき、公表に同意された方。※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。※古本募金により寄附をいただいた方につきましては、連携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。



【SDGsのアイコン(1~17のGOAL)】
SDGsとは「Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標」の略称で、17のGOALが設定されています。本学もSDGs達成に向けた活動を推進しているため、関連するGOALのアイコンを各記事に表示しています。

募集中! 広報誌「創新」のご意見・ご感想などを
ぜひ総務部 広報室までお寄せください!
▶▶▶ E-mail: ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp

●本誌掲載の写真の一部は、撮影時のみマスクを外しております。